

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)

【公表番号】特表 2004-510970(P2004-510970A)
 【公表日】平成 16 年 4 月 8 日 (2004.4.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-014
 【出願番号】特願 2002-532890(P2002-532890)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 D 1/18
 G 0 1 D 21/00
 G 0 8 C 13/00
 H 0 1 H 57/00
 H 0 1 H 59/00
 H 0 3 K 17/94

【F I】

G 0 1 D	1/18	Z
G 0 1 D	21/00	Z
G 0 8 C	13/00	
H 0 1 H	57/00	Z
H 0 1 H	59/00	
H 0 3 K	17/94	E

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 8 月 13 日 (2003.8.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 1 6】

適切には、このスイッチ開閉装置は、従来のマイクロメカニクスおよび／または半導体製造技術等の材料および方法に基づくマイクロリレー (M R) によってマイクロデバイスとして実現される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 2 2】

マイクロリレーの高入力インピーダンスと制御回路 - 負荷回路間のガルバーニ絶縁の結果、動作方向の反転は、回路図中の様々な位置にマイクロリレー (M R) を対応して挿入することによって、追加コンポーネントの必要なく、またはこの柔軟性を得るための他の配線構造の必要なく、簡単に行うことができる。従って、得られるセンサ装置のサブアセンブリのレイアウト費用および規模は、特に全コンポーネントを S M D として構成できることから、最小限に抑えられる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 6
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 6 】

（ 発明を実施するための最良の形態 ）

センサデバイスは、誘導センサ等の対応するトランスデューサを有し、出力回路を含む対応の適合または適応電子機器が関連付けられるサブアセンブリとして構成されるものと考えてもよい。この出力回路は最低 1 つの対応するスイッチ開閉装置を有し、これは好適にはマイクロリレー（MR）であり、後段の負荷回路の切換えを行う最低 1 つのスイッチ要素を有する。